

日本歯科大学附属病院臨床研修プログラム

小児歯科

## 医局員と設備

- ・常勤：11名/非常勤：9名/レジデント：6名（1年3名，2年3名）  
（小児歯科専門医指導医3名/障害者歯科学会認定医指導医1名/  
小児歯科専門医7名/障害者歯科認定医11名）
- ・ユニット：11台（個室4台）

## 診療対象

- ・0歳～15歳までの小児全般
- ・通常の歯科診療が困難な小児，障害児・者
- ・全身疾患を有する小児

- 診療内容
  - う蝕処置
  - う蝕予防処置
  - 咬合誘導
  - 歯の外傷
  - 小手術（過剰歯抜去・小帯切除）
  - 全身麻酔下集中治療
  - 定期健診
  - 訪問診療
  - 障害児・者歯科診療



## 一般目標（GIO）

小児患者に対して適切で安全な歯科医療を行う為に、成長・発達を考慮し、基本的な治療法や治療計画の立案をするための基本的な技能・態度・知識を習得する。

## 行動目標（SBOs）

- 1) 小児患者と保護者に対し、適切で十分な医療情報を聴取する。
- 2) 基本的な診察・検査を実施し、得られた情報を基に診断する。
- 3) 小児・障害児・者に対する歯科的対応法および歯科治療法について理解する。
- 4) 小児および障害者のう蝕や歯周病の予防処置を選択し実施する。
- 5) 口腔機能発達不全症の評価基準を理解する。
- 6) 小児期の外傷歯（歯の外傷）における対応および治療法について理解する。
- 7) 咬合誘導を行うために必要な基本的な知識を習得する。

# 小児歯科に対する専門性のニーズ

少子化，齲蝕減少といわれていますが，**小児歯科に係る医療費は増加**

- ・ 保護者の子どもへの関心（う蝕予防・不正咬合・食育etc）が増大
- ・ う蝕が重症化する子どもや，健康格差が一定数見受けられる
- ・ 新生児医療発展に伴う重度心身障害児の寿命延長

小児歯科ができる歯科医師のニーズは高まっています

研修終了後，当科レジデント制度では，

**小児歯科専門医，障害者歯科認定医取得の積極的なサポートをしています**